

みんなで地域医療を支えよう

問合せ▶保健総務課(☎305-6291)

地域医療は、私たちの生命や健康を守るために、必要不可欠な社会資源の一つであり、多くの医療従事者や関係者によって支えられています。

地域医療を将来にわたって維持していくためには、医療を受ける立場である私たちが、地域医療を支える

取組を一つ一つ積み重ねることが大切です。

ここでは、病院や診療所の役割分担、適正受診のためのポイントを紹介します。



「地域医療を支える取組」についてはこちら➡

【医療機関の役割分担と適正受診のためのポイント】



患者さん



・症状にあった医療機関を受診しよう

日常的な病気やケガであれば、「かかりつけ医」などの身近な診療所(クリニック)を受診することを心がけましょう。大きな病院を受診するより、待ち時間が短く済んだり、自己負担が少なくなったりする場合があります。

・できる限り平日や日中に受診しよう

休日や夜間に受診すると、追加で費用がかかるほか、日中とは異なり、人員体制などが限られているため、検査などが十分にできないことがあります。

・かかりつけ医をもとう

かかりつけ医をもつことで、気になる症状を気軽に相談したり、既往歴などを踏まえて診察してもらったりすることができ、病気の早期発見・早期治療などにつながります。また、専門的な治療が必要なときは、適切な医療機関を紹介してくれます。

かかりつけ医 (中小病院やクリニックなど)



- ・日常的な診療や予防接種
- ・健康相談
- ・長期的な健康観察
- ・軽症の救急患者の対応 など



専門的な治療
や精密な検査
が必要な時

紹介

地域連携
(役割分担)

逆紹介

症状が安定した時

大きな病院 (一般病床200床以上)



- ・専門的な治療や精密な検査
- ・重症の救急患者への対応 など



大きな病院を受診する際は、かかりつけ医などの紹介状が必要です。紹介状なしで一般病床200床以上の大きな病院を受診すると、「選定療養費」という特別な料金を支払う必要がある場合があります。

interview

いざというとき、本当に治療が必要な人が緊急に受診をしたり、救急車を利用したりするためには、皆さん一人一人の適正受診への心がけが大切です。

ぜひ、かかりつけ医をもっていただき、気になる症状があれば、日中に受診・相談できるようにしていただくと、あわてることが少なくなります。

また、休日や夜間での急な発熱やケガなどのときには、#7119・#8000や休日夜間緊急診療所を活用していただくことで、症状にあわせた対応などについて、医療従事者の適切なアドバイスを受けることができます。

皆さんには、このような仕組みを知っていただき、地域医療を支える取組へのご協力をお願いいたします。



水戸市医師会会長
細田 弥太郎 先生

【急な発熱やケガで、不安なときは】

茨城県救急電話相談(☎7119・#8000、24時間365日対応)へ

※詳細は、5ページまたは22ページをご覧ください

【休日や夜間の緊急受診は】

水戸市休日夜間緊急診療所へ

※詳細は、22ページをご覧ください